

WEEKLY ロマンシング サ・ガ3の情報たっぷり

ファミコン通信

ニンテンドー64用
FF最新作の映像を入手!!

10/6

320yen

食欲の秋特別定価

さまざまな症状とその対処法を教えます

ゲーム中毒マニュアル

あなたにもその魔の手がしのびよっている……



聖剣伝説3

詳しいマップつき徹底攻略

ロマンシング サ・ガ3新聞

新連載

旬の情報満載でお届け

NEW GAMES CROSS REVIEW

新作ゲームクロスレビュー

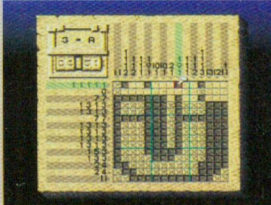
9月25日~10月1日

批評家

発売日

9月14日

マリオのスーパーピクロス



スーパーファミコンバックアップカートリッジ
任天堂 7900円

ゲームボーイで人気の『マリオのピクロス』がスーパーファミコンに登場。今回は、ワリオのピクロスというちょっとむずかしいモードも追加されているのだ。

サテラビューで受信できた、『ピクロス』まんま。問題は、ゲームボーイ版からさらにレベルアップ。完成絵がアニメーションするから、解き終わったときの快感倍増。推理する楽しさ3倍増。でも、個人的には、このソフト、携帯用機に適していると思う。ゲームボーイ版の続編も希望!!

9月15日

キャプテン翼J 全国制覇への挑戦



ゲームボーイカートリッジ
バンダイ 4200円[込]

コミックなどで人気の『キャプテン翼J』がサッカーゲームになった。試合は20フィールドで行なわれ、シュートシーンなどでは迫力ある画面に切り替わるぞ。

カクカク。まるでコマ落とし映画でも見ているような画面のおかげで自軍、敵軍の選手が突然画面に出現。でも、その状況下で瞬時に的確な状況判断を下すのは、無理。ボタン連打のまま十字ボタンをグイグイ操作するだけ。ゲーム初心者がこれで『ゲーム』を判断したら……。

9月29日

火の皇子 ヤマトタケル



スーパーファミコンバックアップカートリッジ
東宝 10800円

人気映画『ヤマトタケル』がRPGになって登場。単なる善と悪との戦いではなく、太陽を崇める勢力と月を崇める勢力との戦いが軸となって、物語は進むぞ。

従魔召還とかでバリエーションはつけているものの、戦闘システムは従来のRPGとさほど大きく変わらない。オーソドックスなRPG。物語こそサクサク進むが、総じて同じトーン。グラフィックは全体にハダさを殺した仕上がり。古代日本。その凝った世界観に引きつけられる人に。

浜村通信



清水ミチコの顔マネが異常におもしろい。ポカホンタス、武田真治、上祐史浩なんてまさに逸選。目のつけどころがいいっていつか、普通じゃ考えられないネタを選ぶところに、この人のセンスの良さを感じてしまう。『顔マネ塾』(宝島)、今週のオススメ。絶対買いだぞ。

羽田隆之



フルマがほしいなあと思ったが、そのままにガレージがないと何かと困るなあと思った。よし、フルマのまえに、ガレージ付きの家を用意しよう! ……バカバカバカ何を考えてるんだ。無理だ。無理の塊のような話だ。順番的にはそのほうが絶対に合理的なのになあ。

渡辺美紀



イザベラ永野や水ピン、バカタール加藤と貸し別荘を借り、2泊3日でボードゲーム三昧計画。ところがゲームをしたのは初日だけ。2日目は全員早々に就寝。とゆうのも、その日の夕食のバーベキューで炭に火がつかず悪戦苦闘。へとへとに疲れたのでした。ぐう〜。

ローリング内沢



ちよいとまえになります。仕事で、ロサンゼルスに行ってきた。天気もよくて、めちゃくちゃゴハンもウマくて最高。サイバージャパという憧れのインターネットカフェにも行けたし。ユニバーサルスタジオも行けたし。通訳のみちよさんお世話になりました。

紙の上でやっても同じなんだろうけど、即反応を示してくれるところはコンピューターにやかなわない。序盤は完成した図柄こそとてもシンプルだけど、こんどこそ、な気にさせてくれるのは微妙なバランスが保たれたいいゲームな証拠。こういうのは腰を落ち着けて楽しみたい。

『マリオ』のほうはまちがって削ると強制的に直されちゃう。これってタイムを減らしてヒントをもらってるのと同じなんだよね。ひっかかるなあ。……って人のために『ワリオ』があるのか。実力と好みで迷ふといーかもね。せっかくなんだから、カラー版の『ピクロス』も遊びたかったな。

問題数が増えたというのはいちばんのウリ。完成されちゃっているバズルゲームなので、内容はとくに変更するところもなく、まあスーパーファミコンになってキレイな色がついたというくらいはいい。頭を使うゲームで反射神経はいらない。女の子でも楽しめます。好きな人ならでは。

スーパーゲームボーイでのプレーがキレイでいい。そんなわけでもなく、敵軍の選手が突然画面に出てくるときはいいけど、試合は画面の半分くらいの面積で行なわれるし、ガクガクきちゃってる。絵はいいのでキャラクターゲームとしてはこれでもいいのかと言えば、それは違う気が……。

ガクガクとスクロールする画面についていくのがかなりたいへん。味方がボールに追いつきそうになった瞬間、どこからともなく敵キャラクターが登場してボールを奪っていく。フィールドがあまりにも狭すぎ、自分が操作してるキャラの把握が不可能。似顔絵も大事だけどサ……。

サッカーのシュートというフィーチャーだけに重点を置いたゲーム。それ以外の楽しみは希薄。とにかくマメのような選手を動かしてマメのようなボールをゴールまで持ってきて、はじめてゲームらしくなる。しかし、ゲージバーをボタンで止めるだけの操作だけじゃ、どうか。

画面がピタリと止まり、何が起これるかと思えば戦闘シーンに切り替わる。この間が辛い。攻撃のやり取りもメッセージをす早く飛ばせない上に、テンポが遅い。そこが気になって、自分がこれから何をすべきだったのかを忘れちゃうほど。先の展開を見たくなるのは確かなのに。

戦闘時の画面切り替えが遅い、スクロールがガクガクする部分があるなど、スーパーファミコン初期のRPGを思わせる。戦闘のバランスが悪く最初からレベル上げが必要。またレベルがひとつ上がると自分が異常に強くなるのもビックリ。町の人が不親切でとまどうことも多かった。

かなりオーソドックスなRPG。とくに目新しいところもなく、逆にいえば古くさいカシジ。戦闘もコマンド選択方式。画面中央に敵が現れアニメーションするタイプ。で、RPGの謎解き以外の付加価値的な楽しめる要素もない。新世代ゲーム機のあるいま、このタイプはつらいか。

そのほかに発売されるゲーム

ポ
ボ
イ
イ
イ
イ

9月28日
発 売

マリオクラッシュ

任天堂 4900円 カートリッジ

『マリオブラザーズ』がリニューアルして登場。カメを敵に投げて気絶させ、気絶中に再度当てて倒していこう。フィールドは手前と奥が用意されている。

クロスレビュー

デジタルピンボール
〜ラストグラディエーターズ〜



サターン
カゼ 5800円
まず、台の前に立ってるかのような視点がよい。ボールの動きのなめらかさや、メッセージもありがたい。デモ画面やBGMもおしゃれで、すべてにおいてアダルトなテイストが出ている。

大阪府 ロシアン

エースコンバット

プレイステーション



ナムコ 5800円
臨場感がものすごい！ 敵機とすれちがうとき、建物にぶつかりそうになったときの恐怖感は限りなく本物に近くてヒヤヒヤもん。いろんな指令があったり、対戦できたりと内容も充実。

宮城県 幼妖

アークザラッド

プレイステーション



ソニーコンピュータエンタテインメント 5800円
戦闘のときしゃべったりするのがすごくよく、感情移入がしやすい。グラフィックも美しいし、難易度もちょうどいい。なんといってもドラマの部分が感動できる。いまから続編が楽しみ。

京都府 武ゆったか?

Best Picks
of
This Week

多分ゲーム史上初の快挙でしょう。たった1日で44本ものゲームが発売されます。クロスレビューが10ページあるのも、もちろん週ファミ初の快挙です。念のため。

とりあえず『聖剣』。中毒性が危険だけど『ピクロス』。友だちと大騒ぎしたいなら、『ウイングアームス』、『プライムゴールEX』。でつかいモニターがほしくなるぜ。プロレスファンは『闘魂列伝』で歴史の証人になろう。

これだけ本数があればだね、そりゃあ高得点のソフトもあるってモンよ。読むのも疲れるだろうけど、吟味してちょうだい。注目作は、『闘魂烈伝』。技があと500種類くらい入ってたら、10点満点で30点は付けてたね。

とりあえず羅列しちゃうと『ピクロス』、『シムシティ』、『スーチーパイ』、『バスケ』、『聖剣伝説』ってのがイチオシのゲームたち。ほかには『QUANTUM』、『闘魂』、『ホーリー』、『ハーメルン』、『ウイズ』ってところスカね。

個人的に好きなのが、『QUANTUM GATE』。ゲームとしてはそんなおもしろいものじゃないです。ストーリーが超楽しい。まあ好き好きだな。あとは『METAL MAX』が脳波とリンク。そのほかはそんなに魅かれな。

9月30日

聖剣伝説3



スーパーファミコンコンパクトアップカートリッジ スクウェア 11400円

人気アクションRPGの3作目がついに登場。プレイヤーは6人のキャラクターから3人を選び、物語を始めることになる。リングコマンドなども健在だぞ。

グラフィックのトーンは明るめ。操作は簡単便利。いかにも万人受け狙いの優等生。でもそのじつ、マニアックにも遊べる「濃さ」も備えている。クラスチェンジ。キャラをどう成長させるか。この工夫が楽しい。もう一度プレイさせる気になる仕掛けもいっぱい。歯ごたえ、あるぞー。

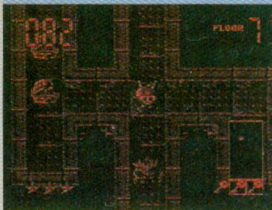
キャラクターが動き回るときの雑さは感じるんだけど、それでも「2」に見られた、「仲間が地形に引っかかる現象」は、なくなってますのでご安心を。謎ってわけではないんだけど、なんか先に入らなきゃいけない、ってな箇所が多かったです。僕に問題アリですか？なぜこんなに絵がきれいなの？

バトルも買い物も、3人でのことのわずらわしさを感じさせないシステムなのはさすが。前作の不満はしっかり解消されているみたい。ステータス画面とリンクコマンドを使い分けたりもいいよね。序盤はサクサク進むんだけど、後半レベル上げが必要になるのがちとツライかなあ。

シナリオやキャラクターのクラスなどがいろいろ枝分かれし、プレーする人によって違う内容が楽しめるのはおもしろい。まあ！本道でないってこと。ストーリーを楽しむのがメインなんすね。ですから戦闘はあつてないようなもの。オートでサクサク。戦略性はかなり薄い。

9月29日

ジャック・ブラザーズの
迷路でヒーホー!



バーチャルボーイカートリッジ アトラス 4980円

制限時間内にダンジョンから脱出することが目的のアクションゲーム。特殊な攻撃方法を持つ3人のなかからひとりを選び、カギを捜しながら出口を目指せ。

アクションゲームとしてはそこそこ楽しめる。何回も挑戦したくなる難易度設定、演出。でもね、立体感がゲーム性に関係がないんだな。落ちていくシーンだけじゃな。ゲームボーイとかだったら納得もいくけどせつから、バーチャルボーイの必然性にこだわりたいじゃない。

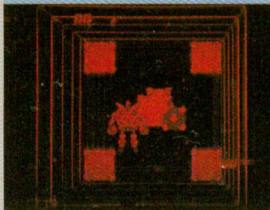
オーソドックスな、迷路に落ちてる集めモノを、しかもこのハードな真偽敵から見るとは、ならではのゲーム内容とは言えない気がする。立体視が高所から飛び降りる場面に集約されているとあれば、なおさらのこと。迷路を作るなら、ブラウン管のほうが地形を理解しやすいだろうし。

内容的にはゲームボーイ向け。でも、わざわざバーチャルボーイで出すのは右+ボタンの存在があるからなんだろうね。このボタンがゲームをグッとおもしろくするのは疑い余地もなく、それは制作者の狙いどおりでとこな。死ぬとそのエリアの最初からってのはちっとキツイ。

かなり簡素な内容のゲーム。迷路内のカギを集めて、出口までいけばステージクリア。それだけ。ゲームシステム的にはチップだけ、中毒性あり。バーチャルボーイの立体視を使った「スゲー」的なモノも見あたらず。べつにバーチャルボーイでなくてもいい、ってカンジっすか。

9月29日

スペーススカッシュ



バーチャルボーイカートリッジ コナツジャパン エンターテイメント 4800円

障害物や上下左右の壁に注意しながら、画面奥にいる相手と空中に浮かぶボールを打ち合うアクションゲーム。キャラは、いくつかの必殺技を持っているぞ。

立体視をうまく使ってマシンの性能を活かしたのは◎。ただし、ゲーム内容が、あまりに古典的。邪魔になる自分のキャラのフォローに、当たり判定を甘くせざるを得なかったのはわかる。でも、代償としてバランスが美味になり、緊迫感がなくなった。もう1アイデアほしかったね。

これは奥行き感を大切に扱ったゲーム。必殺技関係はあるものの、ボールを打ち返す位置を微妙に変えるのがおもしろテクニクとなるので、わりと淡々とした進行なのは確か。それでも立ちぶさがる敵はやたらと多いので、エンディングを見ようと思ったら、かなりの時間は楽しめる。

コートにあるいろいろな仕掛け、L、Rボタンで使う技などがゲームを盛り上げてくれる。敵もステージが進むごとに華麗なテクニクを見せるようになるし、けっこう指先に入るゲームなのだ。必殺技をうまく使いこなせるようになれば、対ボス戦はもっと早く終わるんだろうけど。

空間をうまくつかったソフト。だけど、ただの対戦スカッシュなので、いまいち燃えない。リンクスであった『ロボスカッシュ』というゲーム(知らないだろう)のように、いろいろなフィーチャーが盛り込まれていたらいいのに。アイテムもおもしろそうな効果があるわけでもないし。

※価格の後に[込]マークがついているものは消費税込みの商品価格、価格のみを表記しているものは消費税別の商品価格です。※このコーナーでの評価は、サンプル版(ほぼ完成に近いもの)を使用しています。サンプル版が入手できなかったゲームについては、欄外での紹介にとどめ、評価は後の号で掲載します。※数字は10点満点の総合評価です。

PS PDウルトラマンインペーダー(仮題)

シューティング CD-ROM

スペースインペーダーがウルトラマンと合体して登場するぞ。しかも11人のウルトラマンと54体の怪獣が登場するのだ。新要素としてオリジナルの視点のほかに、怪獣が迫りくる3Dの視点にも切り替え可能。オリジナルのインペーダーや対戦モードも搭載なのだ。

ウルトラパワーで

怪獣たちが並んだ、ウルトラマンモードだ。




色のついたカラーインペーダーを倒すと、なにかが起きるぞ。

侵略者をやっつける

●円谷プロ ●TAITO CORP. LICENSED TO ●BANDAI 1995 ※画面は開発中のものです。

PS キャプテン翼J(仮題)

スポーツ CD-ROM

状況にあわせて、フィールドに立つ選手の視点や客席で応援するサポーターの視点に切り替わる、魅せるサッカーゲームが登場。迫力のあるカメラアングルが、まるでテレビ中継みたいだぞ。ポリゴンで描かれたリアルなフィールドを、翼くんたちが走りまわらせ。

翼くんといっしょに 世界一を目指そう!





◆もちろんふたりに対戦プレーもできるぞ。友だちと熱いバトルを楽しもう。

◆かつてのライバル、シュナイダーとの熱いバトルもみごとに再現されているぞ。

●高橋陽一／集英社・フジテレビ・NAS ●BANDAI ※画面は開発中のものです。

VB 湾岸戦線 RED CITY

シューティング カートリッジ

左右ふたつのカーソルを操り、眼下に広がる湾岸都市を狙って飛来するミサイルを迎撃する3Dシューティングが出るぞ。3ステージごとに登場する巨大戦艦を撃沈するのも任務のひとつ。最終ステージに待ちうける。超巨大戦艦を破壊し、自軍を勝利に導くのだ。

敵ミサイル接近



●都市が全滅するとゲームオーバー。すべてのミサイルを迎撃せよ。

●左右のカーソルを使い分け、クリアできない場合、画面中央のつもと上にいるのがヘンリー。犬みたい。

●ASMIK/AIM ※画面は開発中のものです。

VB 空とぶヘンリー

アクション カートリッジ

フワフワ浮いている、なんとも不思議な生き物ヘンリーが主人公のアクションゲーム。プチデビなどの敵を踏み潰したり跳ね飛ばしたりして疎散しながら「エレ坊」を集めていき、ステージクリアをめざすのだ。奥行きのあるフィールドを縦横無尽に駆けまわれ!!

おとぼけヘンリー大活躍!!




●ポストの一騎打ち!! いきなり3Dシューティングになるのだ。

●画面中央のつもと上にいるのがヘンリー。犬みたい。

●HUMAN 1995 ※画面は開発中のものです。

あらいじ

はいぱあ

新着情報

あらいじ フハハだニヤ〜、私に勝てるのならねならねならね。アオーン。明子 それはアーケードでヒットしたカプコンの格闘アクション『ヴァンパイアハンター』に出てくるキャラクターのマネとみた。というわけで、この『ヴァンパイアハンター』がサターンに移植されることが決定しました。いまから練習しなきゃね。あらいじ では、みなさんご一緒に。フハハだニヤ〜、私に勝てる……。明子 そーじゃなくて、私が言うて



るのはゲームの腕を磨くってこと。あらいじ キュキュッ、こんな感じ? 明子 ほっとこ。日本物産がプレイステーションで名作アクションのリメイク『ハイパークレイジークライマー』、競艇王をめざすシミュレーションゲーム『競艇伝説(仮題)』、そして『ニチツマーザン(仮題)』を出すよ。いやー、思わず目頭が熱く……。あらいじ どれどれ、うわ! 熱い!! 明子 んなわけないでしょ。ええと、タイトーがプレイステーションに入

あの「ヴァンパイアハンター」が サターンに移植されるのだッ!!

気バスルゲームの第2弾「バスルポブル2」を移植するんだって。さらに、あの『卒業』シリーズの生徒たちが一同に介するシミュレーションゲーム『卒業〜クロスワールド(仮題)』もプレイステーションで出るよ。発売はハートロビンからね。あらいじ そいつはすごい!! 天にも上る気持ちですわ。明子 じゃあ上ってみせて。あらいじ ジャンプ!! ピュ~~~~。明子 げげ、ホントに上っていった。



◆この美しいグラフィックも完全に再現されるのか? 期待してまっせ!! ちなみにこれはアーケード版の画面写真だ。